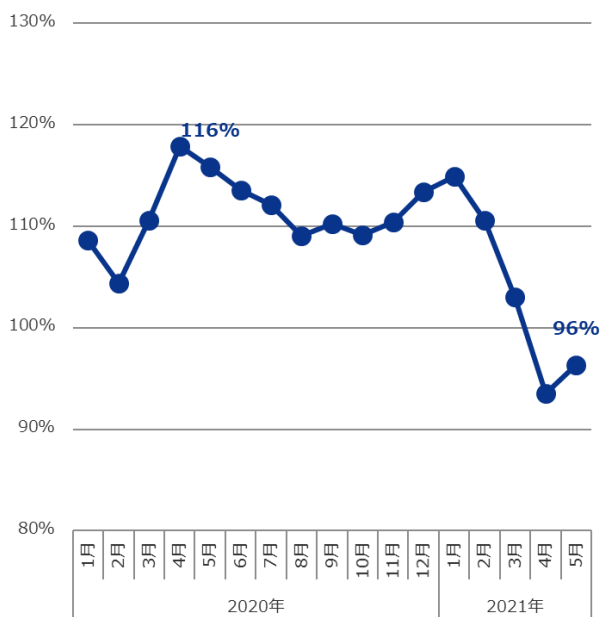


## With コロナの浸透か？ 緊急事態宣言下における受診控えはやや緩和

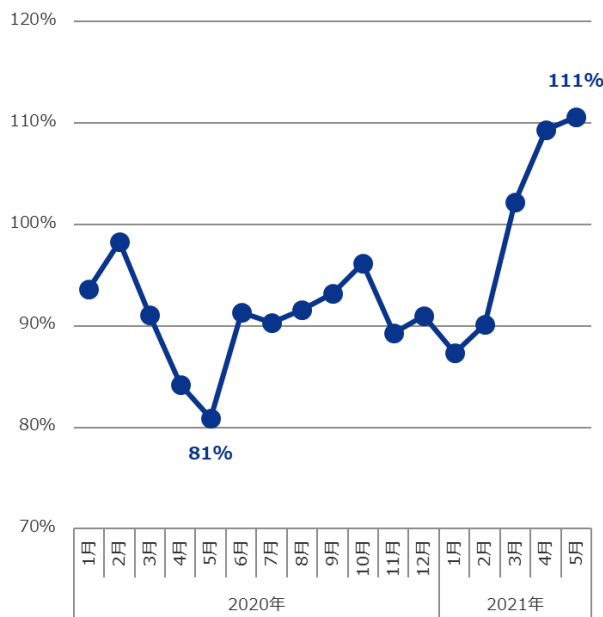
医療情報サービスを手がける株式会社医療情報総合研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤 暢章、以下 JMIRI）は、独自に運用する院外調剤レセプトの2021年5月データを基に、新型コロナウイルスの感染拡大が処方箋データに与えた影響を調査・分析しました。

5月の平均処方日数は前年同月比4%減（96%）、患者数は前年同月比11%増（111%）となりました。2020年5月は1回目の「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」（以下 緊急事態宣言）中であり、平均処方日数は前年同月比16%の大幅増（116%）、患者数は前年同月比19%の大幅減（81%）となりました。新型コロナウイルスの新規感染者数（以下 新規感染者数）が増加傾向にある2021年5月ですが、発出された緊急事態宣言は対象地域が絞られ（東京都、京都府、大阪府、兵庫県、愛知県、福岡県、北海道、岡山県、広島県、沖縄県）、昨年と比べると医療機関の受診控えは少なかったようです。

■ 一回あたりの平均処方日数の前年同月比



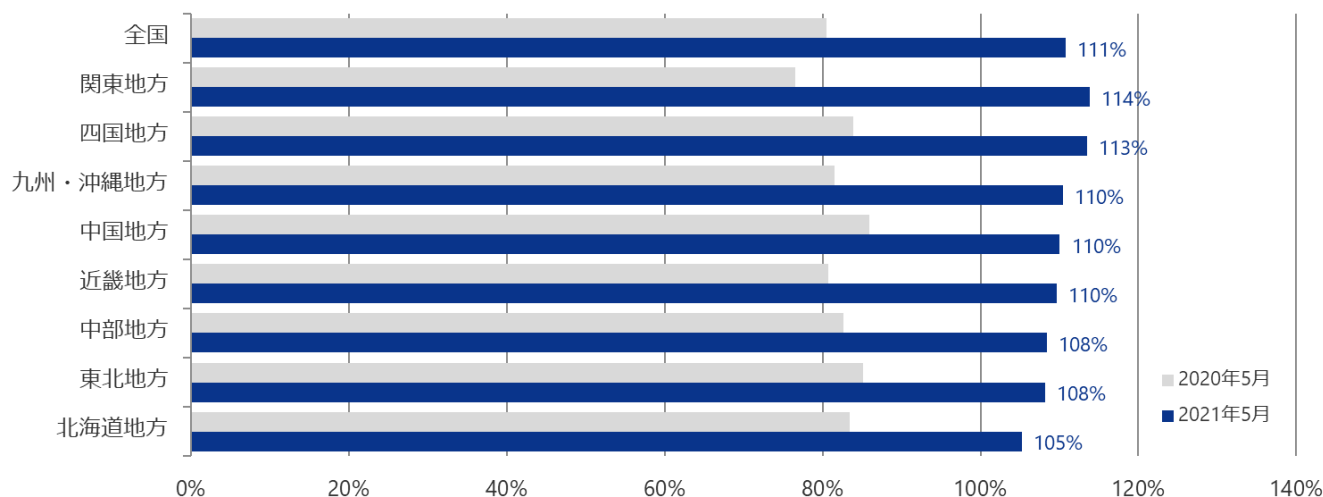
■ 患者数の前年同月比



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

患者数の前年同月比を地域別に見ると、2021年5月は全国的に患者数の増加傾向(5~14%)が見られました。昨年大幅に患者数が減少した関東地方も前年同月比14%増(114%)と8地方で最も高い上昇率となりました。

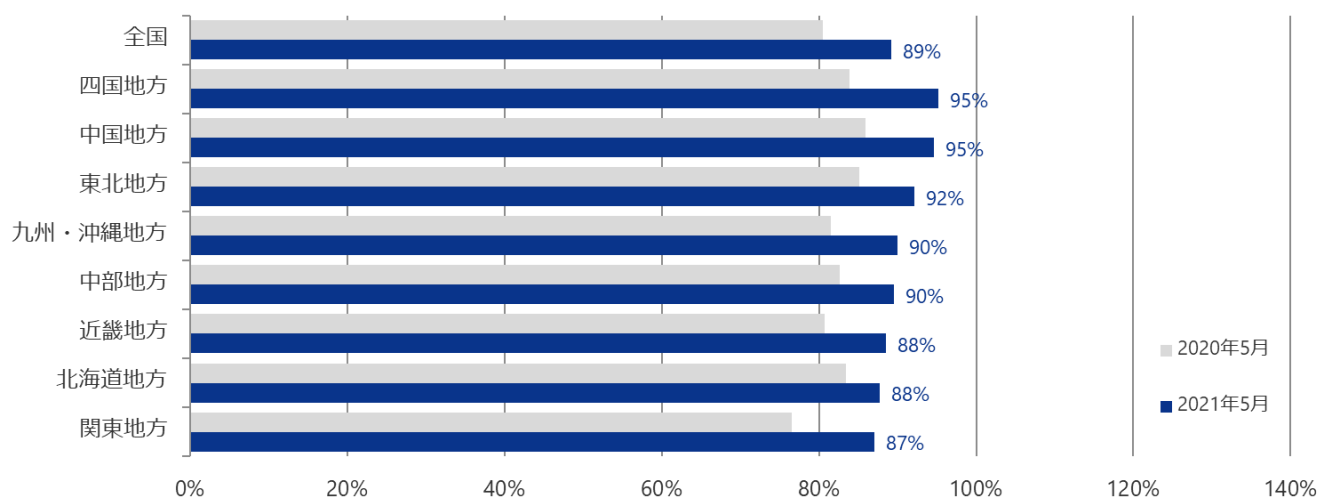
### ■地域別患者数の前年同月比



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

同様のデータをコロナ流行前の2019年5月と比較すると、2021年5月は四国地方、中国地方で減少幅が小さくなっています。東北地方を含め、比較的新規感染者数の少ない地域で医療機関の受診控えが緩和されているようです。

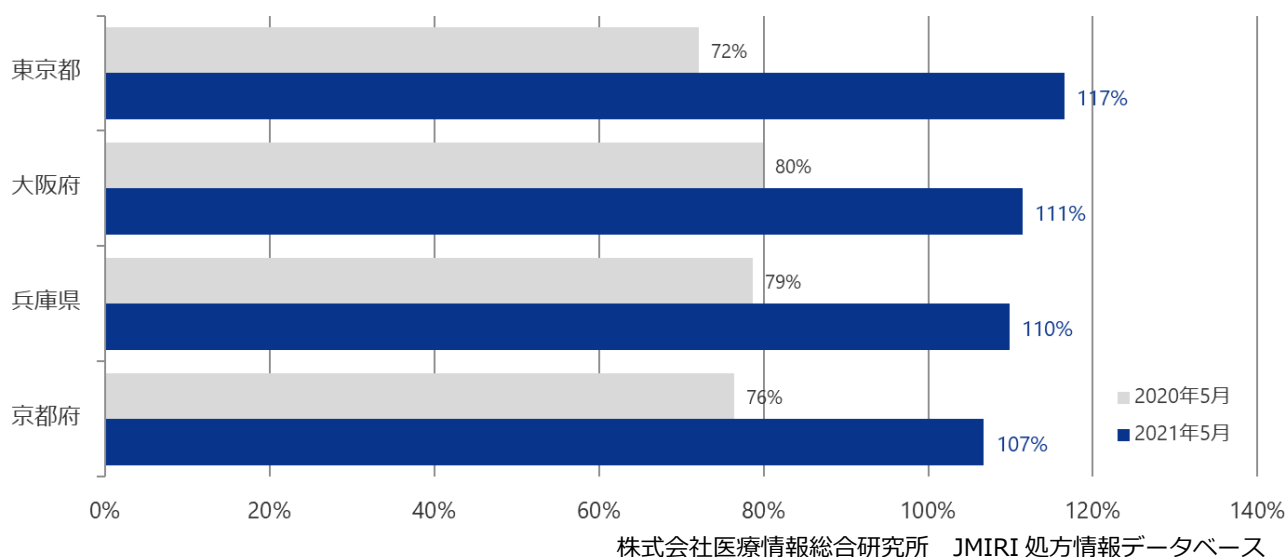
### ■地域別患者数のコロナ流行前 2019年5月比



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

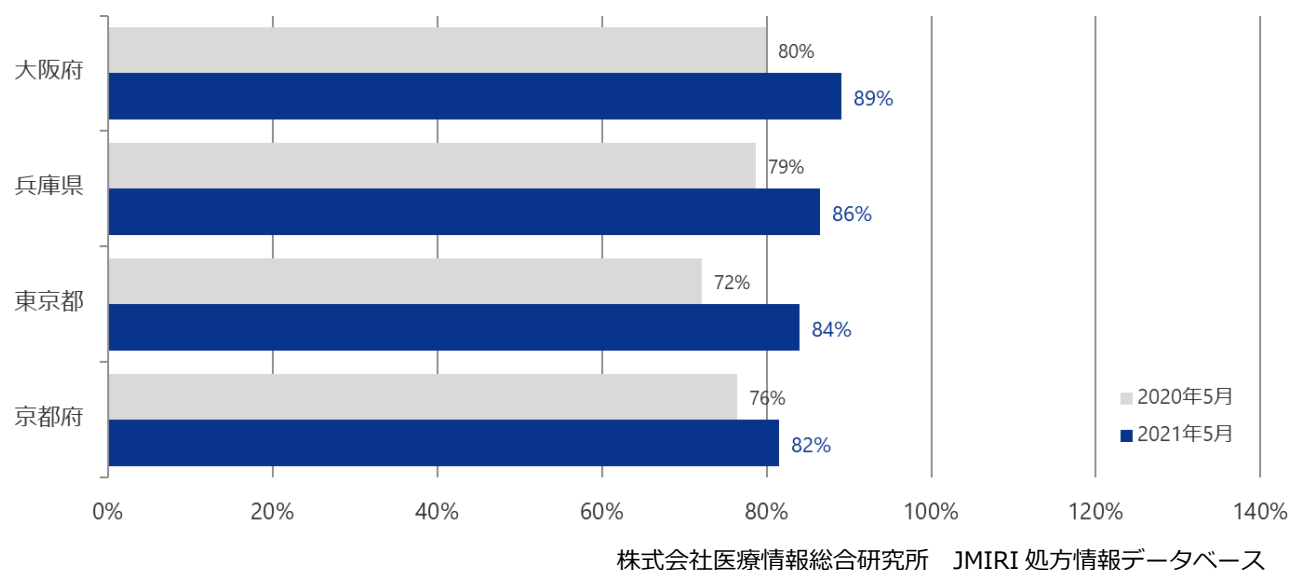
続いて、4月より緊急事態宣言実施区域に指定された東京都、京都府、大阪府、兵庫県の患者動向を見ていきます。いずれも2020年5月に前年同月比80%を下回る水準で患者数が減少した地域となりますが、2021年5月は患者数が増加し、東京都では前年同月比17%増(117%)となりました。

#### ■ 2021年4月緊急事態宣言実施区域の患者数 前年同月比



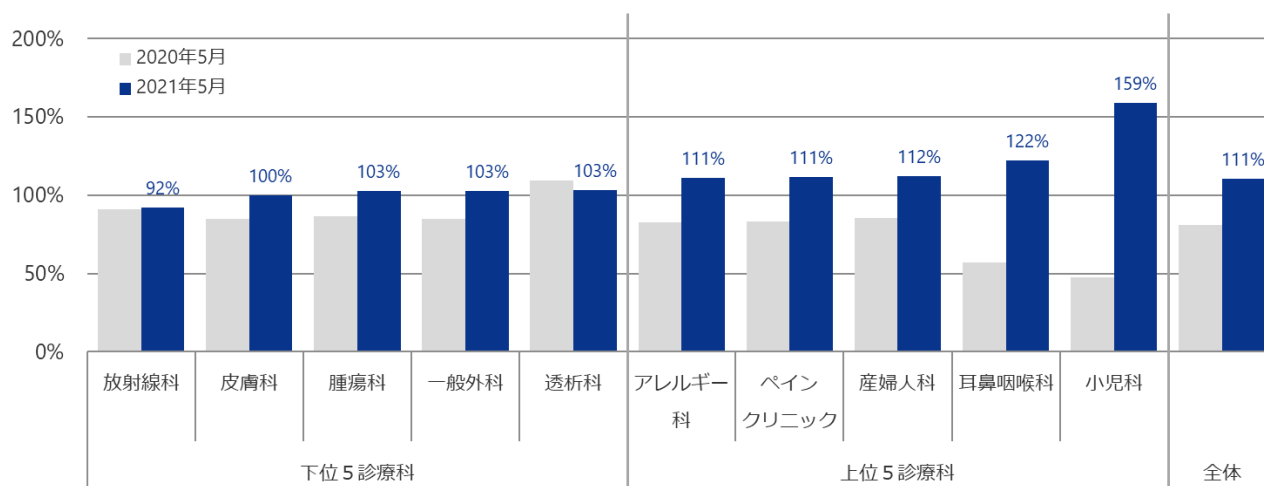
同様のデータをコロナ流行前の2019年5月と比較すると、大阪府が2019年5月比11%減(89%)となり、緊急事態宣言実施区域の中で最も減少率の低い地域となりました。大阪府は3月後半から新規感染者数の増加が始まり、5月にかけて新規感染者数の高止まりが続くなど、長期に渡って感染拡大の影響を受けた地域となりますが、医療機関の受診という側面での影響は他県と比べて大きかったという事実は見受けられません。

#### ■ 2021年4月緊急事態宣言実施区域の患者数 コロナ流行前2019年5月比



患者数の前年同月比を診療科別に見ると、小児科が 59%の大幅増(159%)となりました。昨年は患者数が大幅に減少し経営難に陥る小児科も出ており、厚生労働省より「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取り扱いについて(その 31)」の事務連絡も出されましたが、状況が改善していることが伺えます。

### ■診療科別患者数の前年同月比

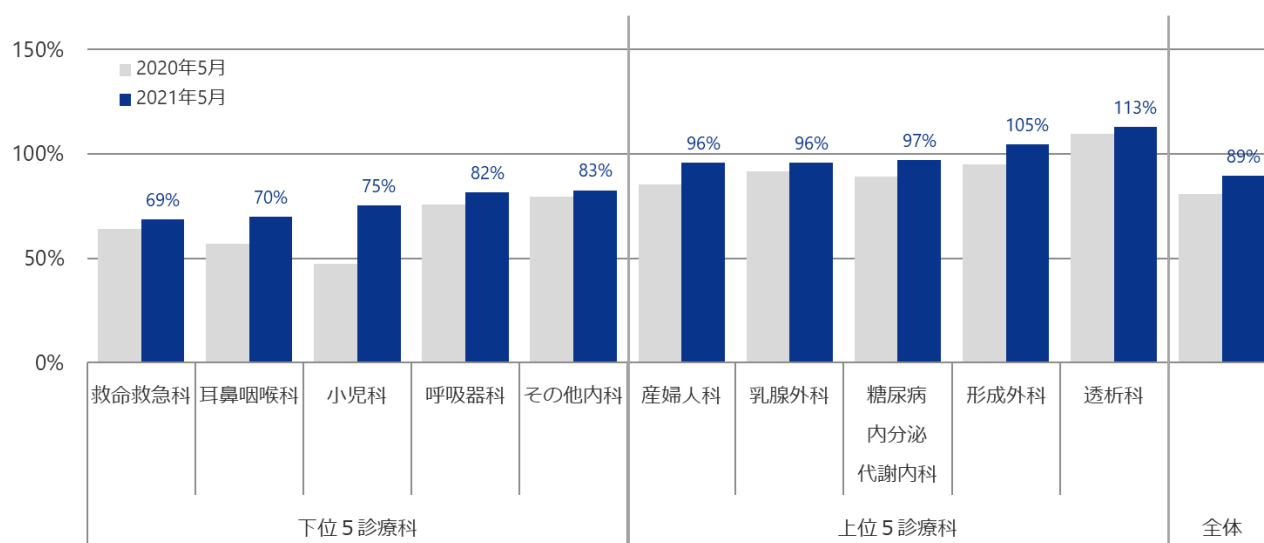


株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

JMIRI の全診療科(30 種)より 2021 年 5 月の前年同月比上位/下位 5 診療科ずつ抽出

診療科データも地域同様 2019 年 5 月と比較すると、最も減少幅の大きい診療科は救急救命科の 31%減となりました。緊急事態宣言下で救命救急科の患者数が減少する傾向が見られ、医療現場の逼迫具合を反映した結果となっているのかもしれない。

### ■診療科別患者数のコロナ流行前 2019 年 5 月比



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

JMIRI の全診療科(30 種)より 2021 年 5 月の 2019 年 5 月比上位/下位 5 診療科ずつ抽出

2021年5月上旬は1月の第3波に迫る勢いで新規感染者数が増え、緊急事態宣言の対象地域も10都道府県に拡大されました。一方で、新型コロナウイルス収束の要であるワクチン接種も進み、5月中旬以降、新規感染者数は減少傾向が続いています。医療機関を受診する患者数の変動は落ち着きを見せつつあるものの、変異株の出現や7月に予定されているオリンピックによる感染拡大なども想定され、未だ予断を許さない状況です。

JMIRIでは引き続き新型コロナウイルスが受診行動に与える影響をいち早くお伝えしてまいります。

#### 本件に関するお問い合わせ先

---

株式会社医療情報総合研究所 企画開発部 鹿島田

Eメール: [cs@intage.com](mailto:cs@intage.com) Tel:03-5294-5990

#### 株式会社医療情報総合研究所 会社概要

---

会社名 : 株式会社医療情報総合研究所 (略称: JMIRI/ジェイミリ)

所在地 : 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ 13 階

代表者 : 代表取締役社長 佐藤 暢章

設立日 : 2005年7月14日

資本金 : 1億8,825万円 (株式会社インテージヘルスケア 100%出資)

#### 事業内容 :

当社は2005年に設立以来、「患者中心の医療・健康情報ネットワークに基づく患者指向のマーケティング支援」をコンセプトに、医療情報(処方情報、患者情報、医師・薬剤師の声)の収集、解析、および提供・販売を行っております。

2020年7月、インテージグループ内にある医療用医薬品関連のファクトデータ事業をJMIRIに集約。今後、新たなソリューションの開発に注力してまいります。

URL : <https://www.jmiri.jp/>